

| 段階 | 学習活動及び学習内容 | 時間 (分) | 指導上の留意点 |
|----|--|-----------|--|
| 導入 | <p>1. 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習プリントの表を確認し、前時の復習を行う。 <p>2. 課題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 海のある面がどうなっているのか予想する。 (1) 海の形や水の循環・台風について学習したことをもとに比較して予想する。 (2) 水の循環については、水蒸気が冷えると目の前で水に変化する実験を実際に体験する。 【実験】水蒸気水滴になるのを見ることができる実験(水の状態変化を確認する。) (3) 課題を設定する。 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の地球とキュービクアースの違いを比較する表 海のある面を確認することを、地球儀と立方体地球模型を比較しながら確認する。 水の三態変化をイメージして映像を鑑賞できるようにする。(シャボン半球の演示実験) |
| | <div>立方体地球の海(水)のある面では、どのようなことがおきているのだろうか。</div> | 10 | |
| 展開 | <p>3. 課題に対する自分の予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の形、水の循環、台風、生態系(植物、動物)などの点で予想する。 <p>4. ビデオ観賞(17分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 気付いたこと、重要だと思ったことをプリントにメモする。 <p>5. まとめ・解説</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像で出てきた水に関する現象を班で発表し合い、まとめる。 ⇒児童の様子(発達段階)に合わせて、まとめ方を工夫する。 立方体地球の環境では、現在の地球に住んでいる私たちは生活することができないということを話し合う。 ⇒現在の丸い地球は、人類が存在する上で特別に恵まれた環境であることを確認する。 <p>注：これまでに学習した内容を想起しながら、まとめるように促す。(気象、天文、水の三態など)</p> | 15 | <ul style="list-style-type: none"> 課題に対して予想をもたせ、比較して映像を観ることができるようにする。 映像に出てきた場面の写真を提示し、想起しながら学習した水の三態変化を活用してまとめることができるようにする。 水に関する現象の画像(写真) |
| | | 32 | <p>《例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物が根に水を蓄えている様子 高温・高圧下の氷 地下水をくみあげている様子 等 |
| 終結 | <p>5. 感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cubic Earth』の前編・後編を観て、感じたことや考えたことをプリントにまとめて記入する。 | 45 | <ul style="list-style-type: none"> 学習プリントの回収 |

学習プリント②

5・6年 組 番 氏名

【課題】



【予想】



*映そを観て気づいたり、大切だと思ったりしたとは、どんどんメモしよう！

【メモ】



【まとめ】

| 映像で出てきた場面 (立方体地球) | 地 球 |
|------------------------------|---------------------|
| 例) 立方体地球の海のある面の中心に台風が止まっていた。 | 風が吹くことによって台風が動いている。 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

★感想・疑問点など★